

第57号  
発行所  
印南宏後援会  
我孫子市日の出1131  
日本電気労働組合  
我孫子支部内  
発行責任者 川島 理俊

今年も残すところ後わずかになりました。年の瀬を迎え、心落ち着かないころとなりましたが、後援会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか！

### テロの脅威が続く世界

世界に目を向けると海の向こうのイギリスで起こった七月七日の同時多発テロ、バリ島やインドでもテロリストによる無差別殺人事件が発生し尊い命が失われています。

また、八月末の米国ハリケーンによる多くの被害、パキスタンでは大



地震が発生するなど、このところ自然界の猛威が続いています。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。それにしてもこの原因はどこにあるのか、きつと自然界が私達人類の行ないに何らかの警鐘を鳴らしているものと推察しているところではあります。季節はこれから本格的な冬へ。後援会員の皆様の一層のご自愛をお祈り申し上げます。

### 県知事選挙

さて、政治の分野では三月に千葉県知事選が行われました。投票率は前回より六・四〇%アップして四十三・二八%となり「全国最低レベルの投票率」からひとまず脱皮をすることができました。しかし、私たちが住む千葉県は①開発優先のまちづくりが行き詰まり。(つくばエクスプレス・かずさアカデミアパーク・八つ場ダム等)②少子高齢化の急速な流れに対応が遅れ。③財政破綻の恐れ。(地方債残高2兆3千億超)など、多くの難問を抱えています。堂本知事は千葉県のあるべき姿ビジョンを明確に県民に示し、それに向かつて行財政改革を徹底し、地方分権時代に対応できる千葉県づくりに全力を尽くしてほしいと思

っています。

### 第四十四回衆議院選挙

九月には日本で初めてと言ってよい、「政策選択型の選挙」、第四十四回衆議院選挙が行なわれました。「郵政の民営化、是か否か、」を問う選挙として行われ、小泉首相主導の「刺客」戦術など「劇場型選挙」が無党派層の関心呼び起こし、千葉県でも投票率が六十七・五九%(小選挙区)となり、前回の総選挙投票率を七%以上も押し上げる結果となりました。

しかし、現実はその他の政治的難問が山積しています。特に、年金など社会保障の問題や深刻な財政問題は、もうこれ以上先送りのできない重要な課題となっています。そして何より、地方を元気にさせる真の三位一体改革を推進させなければ、取り返しのつかない日本になってしまうとも考えられます。小泉内閣が国民の改革への期待に真にこたえるべく、これら重要な課題に全力で取り組んでほしいと心より願っています。

### 市内産業の活性化

私たちの我孫子市は、住宅都市としての基本的な性格を維持しつつ、産業政策を今後どのように展開していくのか、高齢化や税収減が進む中で自立したまちづくりは今何をすべきか、深刻な問題として大きくクローズアップされています。

従来からの商業活性化ビジョンの展開、住工混在の解消を基本とした工場アパートの建設、地産地消を軸とした我孫子の農業のあり方など、懸案事項も山積しています。今、市内を廻ると、多くの商店やスーパーが閉店し、空きビルや空き店舗が多くなっています。TX(つくばエクスプレス)の開通や、印西ニュータウンの大規模開発など、周囲の自治体に比べ活性化策の遅れが顕著となっています。定住人口や交流人口の増の視点だけでない、「ずっと住み続けたい街」として、市内産業の活性化策、パートなどを含めた仕事の確保、雇用創出に行政として総力を上げて取り組んでいかなければならない大切な時期を迎えています。

宏

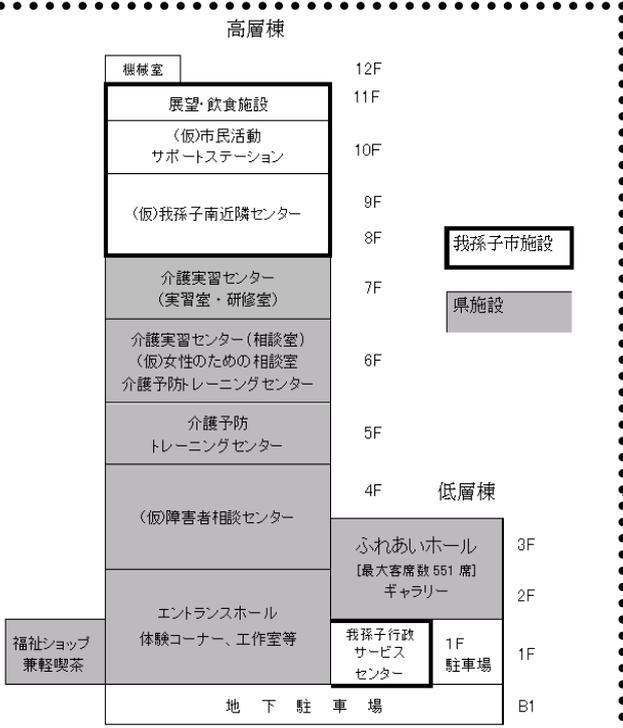
### 印南 宏 現在の役職

- 市議会「あびこ21」会派代表
- 市議会総務企画常任委員長
- 予算審査特別委員長/決算審査特別委員長 (2005年3月、10月)
- 我孫子市議会成田線複線化促進議員連盟幹事長
- 我孫子市土地開発公社評議員
- 連合千葉議員団幹事長
- 電機千葉議員団幹事長
- 我孫子市サッカー協会顧問
- 我孫子市ソフトボール連盟顧問
- 新聞奨学生OB会相談役 (前会長) 他

来春竣工予定！  
我孫子駅前新施設の概要(1/2)

概要(1/2)

千葉県が我孫子駅南口の市有地に建設をしている(仮称)「千葉県福祉ふれあいプラザ」は、高齢者や障害者の福祉充実を図る「介護実習センター」「介護予防トレーニングセンター」「障害者相談センター」、女性の自立を支援する「女性のための相談室」、スポーツと文化的利用の二つの形態に対応可能な「ふれあいホール」などの【県関連施設】と、「我孫子市行政サービスセンター」「市民活動サポートステーション」「我孫子南近隣センター」「展望・飲食施設」などの【市関連施設】から構成され、地上十二階・地下一階からなる、千葉県と我孫子市が合築した複合施設です。  
我孫子駅前誕生する複合施設が、世代・分野を超えた新しい出会い、ふれあいが生まれることを心より期待しています。



- 建設地 JR 常磐線我孫子駅隣接地  
[我孫子市本町 2-423-5、3-421-4]  
規模 地上 12 階、地下 1 階、高さ 56.4m  
敷地 4619 m<sup>2</sup> 延べ床面積 12558 m<sup>2</sup>  
(市施設は 8~11 階、1 階の一部)
- 竣工 2006 年 2 月 28 日[予定]
- 開館 2006 年 5 月以降[予定]

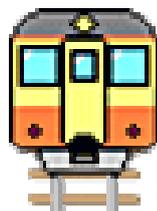
【我孫子の主な行政課題】

成田線利便化の遅れ

(現状)  
我孫子駅を始発駅として成田駅までの路線は通称、我孫子線(成田線)と呼ばれています。現在の運行本数は一日四十往復、増発は平成二年が最後で、この十五年間一本の増発もされていません。日中は一時間に二本、約三十分一本の運行本数となっています。  
JRは八月二十四日のつくばエクスプレスの開通に対抗して、七月九日にダイヤ改正を行い、我孫子駅を日中通過してしまう常磐線特別快速を新設しました。この電車を利用した場合は、成田線の利用者は柏駅で乗り換えを余儀なくされ、本数の少なさに加えさらに不便になりました。

成田線複線化促進議員連盟(印南が幹事長)は、七月十三日にJR千葉支社へ、十月三日にJR東京支社へそれぞれ要望活動を行いました。要望した主な項目は、①七月九日のダイヤ改正による利便性悪化問題②地元負担による増発の実現③成田空港へのアクセス向上を目指した新駅の建設④複数駅利用可能な定期券の実現⑤成田線への千代田線の乗り入れなど、改善を強く要望しました。  
(今後の対策)  
我孫子市が今後、自立した都市として成長・発展していくために、若い世代の定住化や市全体の活性化につながる成田線の利便化は、最も力を注ぐべき行政課題のひとつです。成田線を便利にするためには、

利用者を増加させ、成田線を収益が上がる路線にすることも必要になっていきます。利用客を増やすには、沿線の宅地開発や魅力アップ、集客力のある施設の誘致などいろいろ考えられますが、まずは複線化より増発に努めていくべきだと考えています。  
その上で、成田空港へ気軽にアクセス可能で便利な成田線にすることや、複数駅利用可能な定期券、いわゆる三角定期の実現や、沿線の活性化策としてハイキングやスタンプラリー等の利用客の増大策など、成田線利便化に向けてあらゆる手法を駆使して利用客増に取り組み、行くことが必要だと思っています。



七月十三日の要望活動に

おける主な質疑メモ

地元負担による増発の実現を！

議員連盟：増発を実現するための人件費の地元負担、電留線確保のための負担など提案したが、JRとしての今日までの検討してきた内容を確認したい。JR：ご提言の件について千葉支社として本社と相談しながら検討を行ってきたが、現状の中でシステマ的に経費を負担してもらって増発するという新たな解決方法について、目途は立っていない。会社として引き続き勉強して行きたい。

### 新駅の設置 (空港へのアクセス向上策)!

**議員連盟**：これから迎える高齢化社会、成田空港へのアクセスは重要である。若い人も利用増につながる施策として成田線と交差する場所に新駅は必要と考える。新駅設置を再度検討してほしいが？

**JR**：設置する計画は今も昔もない。今の状況では無理である。

### 成田線へ千代田線の乗り入れを!

**議員連盟**：我孫子から千代田線が走っている。千代田線は小田急線につながり箱根まで直通で行ける。外国からのお客、神奈川県方面のお客にも便利にすれば一本で行ける路線になる。JRの企業努力として乗降客を増やす施策として千代田線を成田線に乗り入れるなど思い切った施策を検討すべきではないか？

**JR**：提言として受け止めたい。JRとして、今後八月二十四日に開通するTXつくばエクスプレスが常磐線にどんな影響を与えるのか？平成二十二年に開通目途のBルートの開通など、JRも大打撃が予想される中、企業として生き残りをかけて営業努力をしていく覚悟である。大事な事は、乗り換えなしでいろいろな方面に行かれることや、縦横のネットワークを強化することである。お客様の選択肢に出来る限りかなうように資源の有効活用を今後検討して行きたい。

### 複数駅利用可能な定期券の実現!

**議員連盟**：市民の多くはバスにて天王台駅に出て、常磐線を利用して来るだけ成田線の定期を買っていた。ただためにも「三角定期」の導入に期待をしている。検討状況はどうなっているのか？

**JR**：今日まで本社とのやり取りもしているが、明確に「やれ」という指示はない。制度上で暗礁に乗り上げていく。他に影響が多く難しい。

### 特別快速の我孫子駅停車を!

**議員連盟**：つくばエクスプレス対抗策として常磐線に「特別快速」が七月九日

## 地域・産業の活性化と 雇用の好循環を求めて

あびこ21 印南 宏 議員

**質問** 今後の行政運営において、市民との協働、アウトソーシングの拡大など、どのように取り組んでいくのか。

**市長** 行政と民間との役割分担を根本から見直す必要があり、行政の事務事業を公開し、民間から民営化や委託化の提案を公募していきたい。

**質問** 正規職員と臨時職員との処遇の違いについて、仕事の質が同じであるなら、賃金格差が生じないように、待遇を整理していくべきでは。

**総務部長** 大幅な給与引き上げは困難だが、常勤職員との均衡を考慮し、働きやすい環境づくりを進めていく。

**質問** 工場アパートの実現には、核となる企業の選定、

に走り出した。特別快速は柏駅に停車するが、我孫子駅には停まらない。どういう理由か？成田線の乗り換えに不便である。我孫子駅に停車してほしい。

**JR**：本音として、その問題は東京支社に行つて話してほしい。こちらに(千葉支社)事前の相談も受けていない。我孫子駅はJR東京支社管内の駅、話として理解はできるが答えは難しい。

### 今後どう考えているのか。

**環境生活部長** 無料職業紹介所はひとり親、障害者、若年者を重点とした対応とし、高齢者職業相談室については、存続を国に要望していく。

**質問** 我孫子駅南北自由通路の四つのルート案が示されたが、抜本的に見直す必要がある。駅舎の改善を、JRとどのように話し合っているのか。

**市長** JRからは改修計画はないとの回答だが、今後も駅北地区の人口動向や駅利用者の状況を踏まえ、自由通路の方向性を確認しながら、駅舎改修や駅通路の拡幅について、JRと協議していく。

**質問** 利根川ゆうゆう公園へのアプローチとなる県道は、東我孫子CC前の変形五差路の改善など、一体となった安全対策が必要では。

**建設部長** 千葉県が十九年

あびこ議会だより  
(十月三十日発行)  
市政に対する代表質問  
より抜粋  
9月議会で「あびこ21」会派を代表して印南が質問をしました。

### 度を目途に交差点のコンパクト化などの安全対策を行う。

市では交差する市道の安全対策を県と協議しながら進める。

**質問** 成田線の利便化について、JRが検討する姿勢すら感じられない。厳しい環境の中で、期成会会長でもある市長は、成田線の利便化にどう取り組んでいくのか。

**市長** 期成会では、次期ダイヤの大幅再編に向け、JR

**市民部長** 今年度も予算確保が厳しい。来年度の国保税は収支を的確に把握し、国保運営協議会に諮り、検討する。

**質問** 我孫子市の水道経営を揺るがす千葉県水道供給体制の改革に対し、どのような対応策を講じているのか。

**水道局長** 水道供給事業の一元化や統合は、水道利用者には有益でないことなどを指摘し、一貫して同調しない立場をとっており、県の思惑のみを進まないようにしていく。



東我孫子CC前の変形五差路

ご存知ですか!

◎議事本会議を

ネットで中継しています!

今年の九月定例市議会から本議会の様子をインターネットで生中継し、録画も公開しています。録画は発言者別に整理した映像を生中継終了後の翌々日から公開しています。

利用方法は、我孫子市の公式ホームページから「議会」を選択し、「議事中継」へ、その後、「生中継」か「録画中継」を選んで下さい。本会議での議員や市長の発言を動画で見ることが出来ます。また、会議録の検索も単語や発言者などのキーワードを入力することで簡単に目的の会議録が検索できるようになっています。ぜひご利用ください。

《我孫子市 HP》

http://www.city.abiko.chiba.jp

\*私が代表を務める「あびこ21」会派のホームページも立ち上げています。是非、ご覧下さい。

《あびこ21 会派 HP》

http://abiko21.exblog.jp/

《メール》

abiko-21@excite.co.jp

宏のひとり言

「蝉しぐれ」

江戸庶民・下級武士の社会

先日の仕事帰りの夜、私は不覚にも電車の中に、ある文庫本を置き忘れてしまった。その本の名前は「蝉しぐれ」、藤沢周平の作品である。昔から時代劇は大好きで、中でも池波正太郎著、「鬼平犯科帳」、「剣客商売」や藤沢周平著の「蝉しぐれ」、「たそがれ清兵衛」などは、何回読んでも飽きることはない、好きな作品である。

そして何より、落ち込んでいた私の心を、すーっと、江戸庶民や下級武士が登場する世界に巧みに誘い、読み終わると新鮮な気持ちへと導いてくれているすばらしい作品達なのである。

電車に置き忘れてしまった「蝉しぐれ」は、最近映画化され話題を呼んでいるが、無限に広がる本は、映画では到底表現できない格別の世界が、そこに存在しているものと思っている。

また、時代劇で描かれる古き良き時代は、現在の「勝組」「負け組」といった言葉が横行している現代社会と違い、江戸庶民と下級武士の社会は、弱い者に対する温かい視線、ぬくもりが感じられる。そこがたまらなく日本的で、私が大好きな所以でもある。

「蝉しぐれ」では、一人の少年藩士(文四郎)の成長を通して、描かれる淡い恋、友情、様々な忍苦を乗り越えて、生きる武士の姿にたまらぬ共感を覚える。また、端正で正確で、透明な文章は、私をのびのびと

作品の世界に遊ばせてくれる。中でも懐かしい風景が、たくさん表現される。心ふるさとのような郷愁を感じる。「いつかああいうところへ帰りたい」という気持ちにもさせてくれる。自然描写も実にすばらしい作品である。

私には「蝉しぐれ」を読むたびに、涙が止まらない箇所がいくつもあ。いくつか紹介してみたい。

梅雨も明けた暑い夏の日、主人公・文四郎の父が藩の陰謀に巻き込まれ、反逆の罪として切腹を命じられる。わずかに許された父子の対面シーン。

「わしを恥じてはならん」と父は言い残す。その最後の対面時に、自分の気持ちを素直に父へ話すことが出来なかつたことへの後悔、父への深い哀慕。対面の直後、親友の逸平が会いに来る。逸平は文四郎の気持ちを察し、声をかける。「泣きたいのか、泣きたかつたら存分に泣け。俺はかまわんぞ」。男の友情、友を思いやる気持、父と子の両方の気持を考えると涙が止まらない。

また、切腹後、父の遺骸を台車に乗せて家路をたどるシーン。街中を通る文四郎に町民たちが注ぐ卑しい視線、そして、蝉しぐれに包まれた夏の暑い日差しの中、坂道を上り、木立の向こうの日向には、陽炎がゆらゆらと上がっている。ここで原文を引用すると「喘いでいる文四郎の眼に、組屋敷の方から小走りに駆けて来る少女の姿が映った。確かめるまでもなく、ふく(お福)だとわかった。ふくはそばまで来ると、車の上の遺体を手を合わせ、それから歩き出した。文四郎によりそって梶棒をつかんだ。無言のままの眼から涙がこぼれるのをそのままに、ふくは一心な力を込めて梶棒をひいていた。」

い恋心を抱いていた二人、ふく(お福)の心を込めた無言の行為に涙が止まらない。その他にも、再会と別れの中で、最後に、ふく(お福)が「文四郎さんの御子が私の子で、私の子供が文四郎さんの御子であるような道はないかつたのでしようか」という切ないほどの思いを伝えるシーンでは涙を誘う。初恋というものはそういうものかも知れない。食い違ってしまった運命をいつときでも元に戻せたらと願う。

いろいろと私なりに書いては見たが、作品のすばらしさは、うまく伝わらないと思う。是非一度、「蝉しぐれ」の原文を読んでいただきた人。私たちの心を大きく包み込む人間描写の魅力に感嘆する。

その後、私は封切られた映画「蝉しぐれ」を夫婦二人で見えてきたことはもちろん、失くした文庫本も再度購入したことは言うまでもない。

宏

宏と語る  
小さな小さな  
ティーパーティー  
受付中!!

(お気軽に声をおかけください)

印南 宏後援会  
〒270-1198 我孫子市日の出 1131  
(日本電気労働組合我孫子支部内)  
Tel 7184-2860

印南 宏 自宅  
布佐平和台 7-1-18  
Tel 7189-1598  
E-mail innami@mqd.biglobe.ne.jp